

令和5年度 指定管理者運営評価シート

所管課

スポーツ推進課

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市立松原体育館
所在地	西宮市松原町2番41
施設概要	体育館には、体育室・会議室・多目的室が設置され、クォーターテニス・バスケットボールなどの球技から武道まで幅広く利用されている。
施設の設置目的	あらゆる世代の市民が快適かつ安心してスポーツに親しめる場を提供し、スポーツ及びレクリエーションの推進を図り、市民の心身の健全な発達を促進するため。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	公益財団法人西宮スポーツセンター	指定期間	開始日	令和 4 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市河原町1番24号		終了日	令和 7 年 3 月 31 日
選定方法	非公募		評価対象年	指定期間 3 年のうち 1 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>施設の老朽化により施設・設備に劣化箇所が随所に見受けられる状況にある。市所管課と協議しつつ、指定管理者の施設管理担当者が主担当として、施設内外を巡回・点検している。具体的には、排煙窓、トイレ、音響設備など事故等の危険度の高い箇所や利用頻度の高い箇所、満足度向上につながる箇所を優先して補修等を実施した。</p> <p>維持管理・補修等に当たっては、仕様書に基づき、また関係法令に規定された管理基準を遵守して、施設や設備、備品が安全な状態を保てるよう日常点検を行っている。さらに、業務日誌を活用し、施設の状態、点検、清掃箇所等を職員間で情報共有を行い、施設設備が良好に維持できるような体制をとっている。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として消毒液・石鹸の設置、施設の消毒作業などを実施している。</p>
②施設の事業・運営関係	<p>「西宮市運動施設条例」等に基づいて、利用者にとって公平で安全に使用できるよう効率的な運営を行っている。施設の予約については、施設予約システム（スポーツネットにしのみや）によって、施設の使用許可に伴う事務、使用料の徴収及び統計作成業務等を行った。</p> <p>生涯スポーツの振興に関する事業として、ライフステージに合わせた体操教室、バドミントン教室、バスケットボール教室、バレーボール教室等のスポーツ教室・イベントを企画・運営した。リニューアル初年度の体育室の全日稼働率は、70%であった。</p> <p>労働実態調査の結果：労働基準法をはじめとする関連法令を遵守しており、また労働条件等に関して適切なものであった。</p> <p>調査結果後の指示事項：なし</p>
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全・快適に利用できる管理運営と利用者の立場に立ったサポートの提供（予防保全、職員の資質向上、感染症予防対策等） ②障害者や勤労者スポーツ分野の教室実施 ③幅広い年代に応じたスポーツ教室やイベントの開催 ④ホームページ等を使った情報発信 <p>取組結果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各世代に応じたスポーツプログラムを提供し、スポーツ教室等参加人数は延べ3,776人となった。 ②職員の資質の維持、向上を図るため、職員研修を充実した。 ③ホームページ、チラシによる情報発信を行った。 ④新型コロナウイルス感染症予防対策（消毒液設置など）を実施し、感染予防に努めた。 <p>今後の改善点：</p> <p>職員の資質の維持、向上を図る。また、日々の点検結果により、経年劣化した施設の修繕や美観の維持・改善を行う。利用者が安心・快適に利用できる環境の整備に努める。</p> <p>バリアフリーの施設を活用し、パラスポーツ教室・イベント等の実施により、障害者スポーツの普及に取り組むこと。</p> <p>定員割れの教室について、施設の周知等を行い、スポーツの普及・推進を図ること。</p>

施設利用状況(量)を示す指標名		単位	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
①	体育室利用件数	件	—	—	—	2,369	2,400
②	多目的室利用件数	件	—	—	—	1,176	1,200
③	体育室稼働率	%	—	—	—	70.3	75.0
④	多目的室稼働率	%	—	—	—	59.8	60.0
⑤							

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	実施日：令和4年10月 手法：施設利用者に対して配布 / 回収数：112名
②利用者アンケート等の結果	施設・設備のコンディション、清掃状況、職員の対応、利用方法について満足度を調査し、すべての項目で高い評価を得ている。総合評価については、8割弱の回答者より「満足」、「やや満足」の評価であり高い評価を受けている。また、スポーツ教室の数については、「今のままでよい」との回答が8割と大多数を占めている。 設備関係では、体育室への冷房機器の新規設置や、多目的室2のマシン増設要望が多数あった。
③結果からの改善点など	満足度については、上位の評価が増加するよう、引き続きサービス向上に努めること。また、修繕や丁寧な清掃を行い、清潔で快適な施設の維持に努めること。 各スポーツ教室については、一般利用とのバランスをみながらライフステージ・ニーズに合わせた各種教室の開催を行うこと。 設備の充実について、市と協議の上、検討していくこと。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	当法人は市が100%出資する外郭団体であり、法人本体の経営状態について、「貸借対照表」及び「正味財産増減計算書」等から「流動性」、「安全性」及び「収益性」の観点より経営分析を実施したところ、経常費用が増加し、当期一般正味財産増減額は赤字額を計上することになったが、新型コロナウイルス感染症の影響も緩和され、経常収益も増加しており、概ね健全と評価した。 公益目的事業は、低廉な価格であらゆる世代を対象として各種スポーツ推進事業を展開しており、収益の確保を主たる目的とはしておらず、収益性は低い。
②評価結果を受けての指示事項	新型コロナウイルス感染症が収束へと向かう中、今後はアフターコロナに柔軟に対応していける体制づくりに取り組む必要がある。

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位：千円)

区分	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(年度協定額)
指定管理料	—	—	—	35,000	35,000
うち修繕料	—	—	—	(3,000)	(3,000)
補足説明	「指定管理料」の「うち数」は、その金額が明確な場合にのみ記入している。また、「うち数」の合計は、指定管理料と同じではない。 当該指定管理施設の比較的大規模な改修工事や備品(新規・買替)等については、緊急性・必要性などを総合的に判断して市所管課が負担している。また、光熱水費についても、市所管課が負担している。				

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位：千円)

区分	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(予算)
使用料	—	—	—	10,572	9,852
自販機電気代	—	—	—	56	67
行政財産目的外使用料	—	—	—	23	27
その他の収入	—	—	—	273	235
合計	—	—	—	10,924	10,182
補足説明	「その他の収入」には、自動販売機取扱収入を記入している。千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。				

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	毎月1回開催している月次連絡会やモニタリングなどを通じて、事務処理・施設管理が、仕様書等に即しておおむね適正に行われていることを確認した。 施設設備等の老朽化に伴う軽微な補修については迅速に対応し、利用者の利便性や安全確保のため、市とも情報共有しつつ、適切な施設管理が行われた。 また、自主事業では、各世代に応じたスポーツ教室を実施し、スポーツ参加の機会提供に努めた。 引き続き、スポーツによる交流の場の創出が望まれる。
②指摘事項	・施設の老朽化が進む中、利用者が安心・快適に利用できる環境の整備に努めること。 ・自主事業では、引き続き各世代に応じたスポーツ教室を実施し、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、バリアフリーの施設を活用し、障害者スポーツの普及に取り組むこと。